



学校教育目標「大らかに つよく かしこく」

学校だより

～大塚小学校の6つのじまん～

なかよし、歌声、元気、そうじ、あいさつ、読書

令和元年度 7月号

令和元年 7月 1日

川越市立大塚小学校

〒350-1129

川越市大塚2丁目10番地1

電話 049-245-2929

笑顔あふれる大塚っ子の“やる気”を育てるために

校長 遠藤 千絵

7月になり、梅雨明けが待ち遠しくなりました。日中の蒸し暑さだったり、朝晩が急に冷え込んだりと、昼間の服装や夜間の布団など、上手に調整しないと体調を崩しかねない気候が続いています。そのような中でも子供たちは毎日、学習や運動に元気に励んでいます。6月13日に、5、6年生がプール開きを行い、水泳学習が始まりました。初めて学校のプールに入る1年生も歓喜の声を響かせていました。

さて、先日のPTA家庭教育学級では、本年度の学校経営方針(※)の説明と「笑顔あふれる家庭から大塚っ子を育てましょう」という演題で、お話をする機会をいただきました。ご参会いただいた皆様と家庭での笑顔について考えたり話し合ったりする中で、右のような「親として子供のやる気を育てる10か条」を紹介しました。これについて少し考えてみると、

- 第1条：過干渉や過保護からは、子供のやる気や強い意志、たくましい意欲は育たないようです。子供の意思を大切にすることです。
- 第2条：子供に自分の目標を持たせましょう。「頑張れ」だけでは、子供は何を頑張るのか、頑張りようがないのです。
- 第5条：10のうち3うまくいったら、まず3の部分を認めてあげます。大事なのが親が本気でほめることです。認められたことで次のやる気につながります。
- 第8条：失敗をいかに克服して、いかに心の糧にしていくかが大切です。失敗を責めるのではなく、その失敗を真正面から見つけさせ、今度は励まします。

親として子供のやる気を育てる10か条

- 第1条 自分のことは自分でさせる
- 第2条 めあてを与える、めあてをもたせる
- 第3条 やったことをまず認めてあげる
- 第4条 たまには困難を与える
- 第5条 上手にほめる
- 第6条 上手に叱る
- 第7条 好きなことに熱中させる
- 第8条 失敗を許す
- 第9条 親の“やる気”はほどほどに
- 第10条 明るく温かい家庭づくり

埼玉県家庭教育振興協議会

『～子ども励まし10か条～やる気にさせる親の知恵』から

第10条：やる気を育てるためには、家庭が明るく平和で伸び伸びしていることが大事なようです。

ところで、私は折に触れて、「子供のよさを認めて、伸ばす教育」について話をしていますが、それはなかなか難しいことです。つい課題やできていない面が目につき、注意や指導の言葉が多くなりがちです。だからこそ、学校・家庭・地域、それぞれの役割で、私たち大人が大塚っ子一人一人のよさを生かし、大切な存在として認め、励まし育てていきたいと思えます。教育は、「教える」とことと「育てる」とことと言われます。そして、“やる気”は「育てる」ものだと考えています。この“やる気”こそ、学力や体力を向上させる原動力となります。ですが、一朝一夕で身に付けることはできません。焦らず、長い期間をかけて、様々な経験(成功や失敗)の中から育むことが大切なのでしょう。

1学期も残すところ後3週間となりました。間もなくやってくる夏休みに向けて、学校では、各学年から夏休みの課題を示すとともに、夏休みの過ごし方についての指導をいたします。これらを踏まえて、学習面、生活面、健康・安全面、友達関係などに十分留意して、一人一人にとって充実した夏休みとなるように願っています。各家庭でお子様と過ごす時間が長くなりますが、夏休みが有意義なものとなるよう、『10か条』を参考にしてみたいかがでしょうか。

※今年度のグランドデザインです。
詳細は、ホームページをご覧ください。

